

評価事例 12

単 元 名	第6学年 Unit4 Summer Vacations in the World
単 元 の 目 標	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。 「話すこと [発表] ウ」
言 語 活 動	どのような夏休みを過ごしたのか知ってもらうために、学級の友達に、夏休みの思い出を発表する。夏休みの出来事から1つを絞り、その様子を描いた絵カードを示しながら、行った場所やしたこと、感想など伝えたいことを整理して話す。

評価の進め方

学級の児童を2つのグループに分ける。グループごとに集まり、1人ずつ前に出て発表する。教員とALTで担当するグループを決め、発表の様子を見ながら評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 場所や動作、食べ物、様子などを表す語句や I went ~. I enjoyed ~. I ate ~. It was ~. の表現について理解している。 〈技能〉 夏休みの思い出について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話している。	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。



思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちに更に詳しく伝わるように話している。
B：おおむね満足できる状況	夏休みの思い出について、行った場所やしたこと（楽しんだこと、食べた物など）、感想を話している。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

評価例（S = 児童， T = 教員）

A となる例	B となる例	C となる例
I went to Hanayama. I enjoyed hiking. <u>Do you like hiking?</u> ① I ate a rice ball. <u>I like rice balls.</u> ② It was fun.	I went to Hanayama. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. It was fun.	S: I went to Hanayama. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. ... T: 感想はありますか？ S: It was ...
理由 夏休みの思い出について、行った場所やしたこと（楽しんだこと、食べた物）、感想を話しているだけでなく、①Do you like hiking?と相手の理解を確かめる呼び掛けを行ったり、②I like a rice ball.と情報を付け足したりして、自分の考えや気持ちに更に詳しく伝わるように話している。 既習の語句や表現の活用としては、一文を付け足すだけでなく、by car や with my family のように文の後ろに語句で付け足すことも考えられる。	理由 夏休みの思い出について、行った場所やしたこと（楽しんだこと、食べた物）、感想を話している。したことについては、楽しんだことや食べた物以外にも、見た物や買った物、作った物など、その場所でしたことの中から選択して話すことが考えられる。	「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照

指導のポイント

- ・一番伝えたい夏休みの思い出について、行った場所やしたこと、感想などを、イメージマップやクラゲチャートなどを活用したワークシートに書かせ、伝えたいことを整理する場面を設ける。
- ・ワークシートに整理して書いたことを英語で伝えるには、どのような語句や表現を知りたいか、既習の語句や表現をどのように使って話せば良いかを考えさせる。